



2014年10月14日

会社名 J. フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2014年9月度 J. フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
百貨店事業	▲ 1.1
パルコ事業	3.9
卸売事業	▲ 6.4
クレジット事業	21.3
その他事業	1.9
連結合計	0.1

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・9月度の百貨店事業の売上高は、紳士服のスーツ、ジャケットが好調に推移したほか、婦人服もコートが活発に動くなど堅調に推移し、宝飾品、化粧品も2か月連続で前年実績を上回るなど好調を維持したものの、日曜日が対前年▲1日減であったことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲0.4%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲1.1%減となった。

2) パルコ事業

- ・秋冬物立ち上がり期の強化策として実施した販促プロモーションにおいて、ダウンジャケットをはじめとするアウターがよく動いたほか、気温の低下により月を通してニット、カーディガンなどの軽衣料に加え、バッグなどの身回品も好調に推移したことから、パルコ事業全体では対前年3.9%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、化学品・生活資材が好調であったものの、食品・リテール事業が苦戦し、対前年▲6.4%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店・お得意様ゴールドカードのクレジット化による年会費や、加盟店手数料の増加などが寄与し、対前年21.3%増となった。
- ・その他事業は、人材派遣業のディンプルが好調であったことや、今期よりフォーレストが加わったことにより、対前年1.9%増となった。

お問合せ先	J. フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2014年9月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	9月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲2.2	▲8.9
大丸 梅田店	1.9	▲14.6
大丸 東京店	2.1	▲8.0
大丸 浦和パルコ店	▲8.8	▲5.6
大丸 京都店	1.9	▲6.7
大丸 山科店	▲4.0	▲4.9
大丸 神戸店	0.5	▲8.3
大丸 須磨店	▲1.8	▲11.3
大丸 芦屋店	▲8.3	▲9.5
大丸 札幌店	▲1.4	▲15.3
松坂屋 名古屋店	3.4	▲6.4
松坂屋 上野店	▲17.2	▲25.6
松坂屋 静岡店	0.8	5.0
松坂屋 高槻店	▲1.5	▲17.9
松坂屋 豊田店	0.5	▲6.9
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>▲0.4</b>	<b>▲10.7</b>
博多大丸	▲5.2	▲4.6
下関大丸	▲3.8	▲5.5
高知大丸	▲9.0	▲4.7
<b>百貨店事業合計</b>	<b>▲1.1</b>	<b>▲10.2</b>

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
紳士服・洋品	6.9
婦人服・洋品	0.7
子供服・洋品	1.9
その他の衣料品	▲9.4
衣料品計	1.1
身 回 品	▲4.2
化粧品	5.2
美術・宝飾・貴金属	▲0.3
その他雑貨	35.7
雑 貨 計	5.2
家 具	▲6.3
家 電	▲4.0
その他の家庭用品	▲2.7
家庭用品計	▲3.5
生 鮮	0.7
菓 子	▲5.0
惣 菜	1.5
その他食料品	▲4.9
食料品計	▲2.0
食堂・喫茶	▲5.5
サービス	▲22.1
そ の 他	▲7.0
合 計	▲0.4

### 3. 売上高概況

- ・ 婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが前年を上回ったほか、衣料品ではコート、スカートなどがよく動いた。紳士服・洋品は、スーツ、ジャケットなどが好調であった。身回品は、かばん・旅行用品が売上を伸ばしたものの、婦人靴が苦戦した。雑貨は、化粧品が2か月連続でプラスとなったほか、時計・宝石も前年実績を上回ったものの、美術品が苦戦した。食品は、上野店南館建替え工事による売場面積減などによりマイナスとなった。